



のびのびネットワーク

～たくましくのびゆくわれら～

令和5年5月29日 No.8



さらに

皆野小学校のあいさつができる

えのきっ子に!

～あいさつの学習をしました～



皆野小学校の児童の元気なあいさつが響く学校・地域にするために、年間重点目標の一つである《あいさつ》をさらに定着したいと考え、各クラスで【あいさつの学習(SST)】に取り組みました。学習後の感想を読むと、あいさつについての考え方が変化した児童がほとんどです。学習したことで、自分のあいさつについて振り返り、これからどのようにあいさつに取り組むか考えるきっかけになったと思います。



あとは**学習したことを生かして実践**することです。【皆野小学校のあいさつ】を意識したあいさつができるよう、励ましていきたいと思います。

※2年生から6年生の学習後の感想を掲載します。(1年生はあいさつの学習のみ)

2年生: きょうは元気にあいさつができました。これからも元気に明るくしていきます。あと、あいさつはとても大事で他の人の元気になるってわかりました。

2年生: あいさつがとてもじょうずにできたので、登校の時も下校の時も、休みの日も習い事の先生にも友達、先生にもにこにこ笑顔であいさつがしたいです。

3年生: あいさつは人に通じる言葉で、大きな声で言わないと人に通じないとわかりました。ママが「あいさつは武器になる」と言った意味がわかりました。あいさつをすると友達がふえるということです。

3年生: あいさつをしてもされても笑顔になってうれしかったです。だから、いっぱいあいさつをしないといけないなと思いました。

4年生：最初あいさつをした時、相手が聞こえないようだったので「ダメだ。」と思いました。今度は相手が何を言っているかわかるように言ったら相手もあいさつを返してきてくれました。これからは相手が自分のあいさつが聞こえるように生かしたいです。

4年生：あいさつをすると自分の気持ちがいいし、相手も気持ちがよくなることに気がきました。

5年生：小さい声だったり悪いあいさつだと、あいさつを返していいのかわからなくなるし、とまどったりします。いいあいさつだと悪いあいさつと違って、あいさつが返しやすくなるし戸惑いがなく、いいあいさつをするとあいさつをされた人は気持ちがよくなることに気がきました。これからは、大きな声でいいあいさつをしたなと思いました。

5年生：ぼくは、今まであいさつってただ人に言うだけと思っていました。だけど、今日のあいさつの授業をやって思いました。あいさつって自分にされると心がいやされました。なので、これからはぼくも自分から進んであいさつをできるように頑張りたいです。

6年生：《あいさつに必要なこと》は、【相手の目を見る・立ち止まる・笑顔で・恥ずかしがらず・冷やかさず・大きな声で】あいさつすることです。逆にあいさつで悪いのは【歩きながら・相手の目を見ず・暗い顔で・恥ずかしく・冷やかす・小さな声で】あいさつするのはとても悪いことです。だから最初の《あいさつに必要なこと》を思っ
てあいさつしたいです。

6年生：ぼくがあいさつの学習をして思ったことは、あいさつは人が気持ちよく過ごせる魔法の言葉だと思いました。あいさつをすることによって、相手や自分まで気持ちよく過ごせると思いました。なので、ぼくもみんなが気持ちよく過ごせるようにあいさつをしたいです。



6月の生活目標



「ていねいに手をあらいます」

新型コロナの感染拡大を防ぐために、3年前から6月の生活目標が《ていねいに手をあらいます》になりました。コロナの感染拡大も収まってきていますが、「ていねいな手洗い」と「手指消毒」については、継続して取り組みたいと思います。今までも取り組んでいるので、手洗い後に**ハンカチ**や**タオル**で手を拭く習慣が身に付いているお子さんが多いです。しかし、ハンカチやタオルを持っていないお子さんも見られます。これから、蒸し暑くなり汗をかく時季にもなります。学校でも声かけをしていきますが、ご家庭でもハンカチやタオルを身に付けて登校できるよう見届けをお願いします。

清潔なハンカチやタオルをいつも身に付けることが習慣化されるよう、ご協力をお願いします。